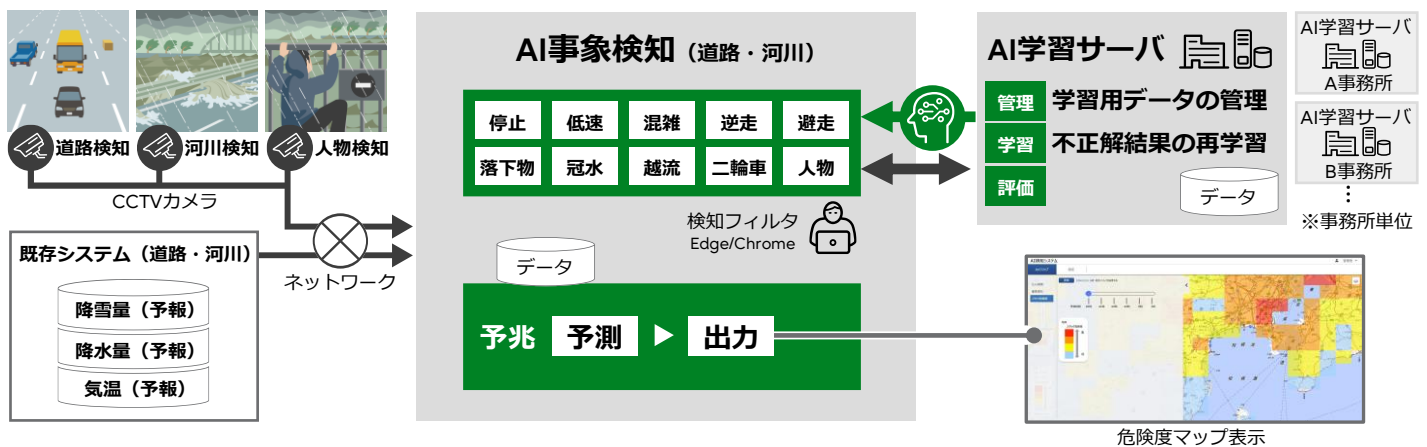


Fujitsu AI事象検知 システム



AI事象検知システムは、道路や河川に設置したカメラ映像から道路／河川の状況や人物を監視し、AI技術を用いて車両の停止・低速・混雑・逆走・避走・落下物、河川の越流や人の侵入などの事象を自動で検知・解析・判定し、監視員へ事象を通知するシステムです。

AI事象検知システム



システムの特長

- AI(ディープラーニング)による事象検知**
 AIにて画面上の人物や車両、河川越水を自動認識します。
 屋外環境に適用するため、画像認識にディープラーニング技術を活用することにより、従来技術に比較し、天候などの外部環境の影響を受け難くしています。
 また、事象を検知した場合は、アラーム音にて通知し、見逃しを防ぎます。
- 映像アーカイブ**
 異常検知した映像は、映像蓄積装置と連携して事象発生の前後の動画を自動的にライブラリに蓄積します。
 また、これらの蓄積された映像は、映像アーカイブとして、映像情報共有化システム等にて表示が可能となります。
- 20台(標準)のカメラを1台AIシステムで処理**
 20台(標準)のカメラを順次切り替えてAI処理する方式を採用しています。また、この方式はカメラごとの処理領域や画角の固定などを必要としないため、日常のカメラ監視業務に制限を与えずに検知処理が実施できます。(※一部非対応の機能あり)
- AIモデルの現場学習**
 AIモデルの精度向上のための現場学習を実現する機能です。
 AI学習モデルを短期間で作成することができ、お客様先の環境内で定量的にAI学習モデルの精度向上を実現します。
- 予兆予測検知**
 気象データの情報を基に事象発生の危険度を予兆予測する機能です。
 現場の映像データによる事象検知だけでなく、気象庁などの外部データを活用した予兆予測を行い、危険度マップなどの情報を提供します。

Fujitsu AI事象検知システム

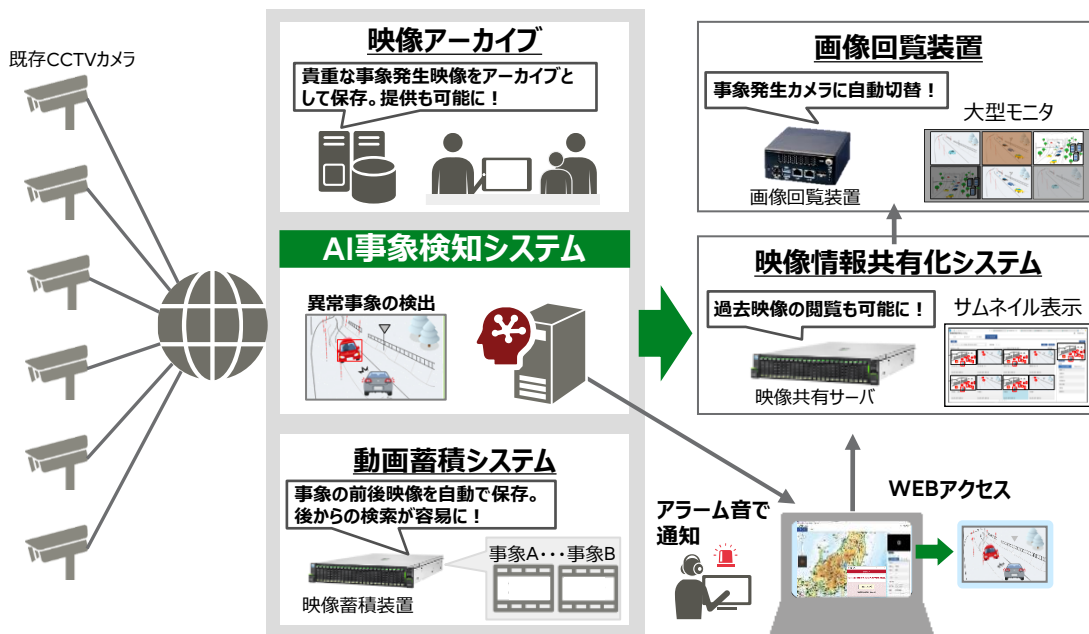
機能一覧

機能	内容
AI検知	<ul style="list-style-type: none"> 検知車両種別：乗用車、トラック、バス、人（*）、二輪車（*） 検知方式：ディープラーニング方式
事象判定	<ul style="list-style-type: none"> 巡回監視：停止、混雑、低速（*）、冠水（*） 常時監視：避走（*）、逆走（*）、落下物（*） 越流（*）、二輪車（*）、人物（*）
事象画像自動蓄積	<ul style="list-style-type: none"> 事象判定映像を映像蓄積装置のライブラリに自動で蓄積
検知カメラ数	<ul style="list-style-type: none"> 巡回監視（標準）：20カメラ（回覧）／1システム 常時監視：4～6カメラ（固定）／1システム
既存システム連携	<ul style="list-style-type: none"> 映像蓄積装置連携、映像情報共有化システム連携、画像回覧装置連携（*）
表示・出力	<ul style="list-style-type: none"> WEB端末表示、パトランプ点灯（*）、メール配信（*）
映像アーカイブ	<ul style="list-style-type: none"> 自動保存した貴重な事象画像を映像アーカイブとして活用（*）

注：*印はオプション機能。各種システム連携はシステム側のインターフェース等の確認が必要となります。

システム構成

AI事象検知システムと既存の映像関連システムを連携させることにより、動画蓄積システムでは事象発生時の検索を容易とし、また映像情報共有化システムでは過去映像の検索閲覧を可能とします。これらの映像をアーカイブとして保存や提供を実現します。



注意 ●ご使用の際は「取扱説明書」をよく読みの上、正しくお使いください。
水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。
表示された正しい電源・電圧でお使いください。

- 機器の改良のため、予告なしに仕様・デザイン等を変更することがあります。
- 印刷の都合により、実際の色とは、若干異なる場合があります。

富士通株式会社

お問合せ先：富士通コンタクトライン 0120-933-200

受付時間 9:00~12:00および13:00~17:30（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）

2024年6月 第3版